11/24 埼玉新聞 朝刊

名曲の数々披露

30周年特別公演・28日、川口

ジャズアマバンド「東海林明とニュー・ノーツ・オーケストラ」

一九六九年に結成したジャズのアマチュアバンド「東海林明とニュー・ノーツ・オーケストラ」が二十八日午後一時半から、結成三十周年を記念し、特別演奏会（県、市など後援）を同市幸町一丁目の市民会館で開く。入場無料。

「ニュー・ノーツ」のリーダーを務める東海林明（四八）さんは現在、県薬務課に勤務。「手弁当で演奏したい」とバンドを率い、障害者の福祉施設や特養老人ホームなどでボランティアの演奏活動を三十年間続けてきた。今年三月、芸術奨励賞（音楽部門）を受賞。長年の活動が評価され、十月には県社会福祉大会県知事賞にも輝いた。

グレンミラー・オーケストラに魅せられた市立川口高校吹奏楽部のOBたちが「根っからの音楽好き」というメンバーは現在二十人。年齢層は三十―六十歳代と幅広い。職業もタイ焼き屋、運転手、エンジニア、社長、主婦など様々。スケジュールをやりくりし、月二回の練習には顔を合わせるようにしている。演奏会は五年に一度だが結成三十周年の節目にあたる今回、「本番に向け気合も十分」と最後の音合わせに励んでいる。

「美女と野獣」「スパイ大作戦のテーマ」などアニメや映画の主題歌で構成する「ファンタジーの世界」（第一部）、バンドが専門とする「スタンダード・ジャズ」（第三部）をプログラムに組み、盛りだくさんの曲目を披露する。

とくに「三十年間温めてきた念願の企画」（東海林さん）が、第二部の「グレンミラー物語」。「真珠の首飾り」「茶色の小びん」「ペンシルバニア6―5000」など名曲を、プロ司会者のナレーションと絡めながら同映画を再現する。

東海林さんは「演奏会は大人から子どもまで楽しめるのでぜひお出かけ下さい」と話している。

問い合わせは東海林さん（夜間のみ☎048・265・9877）。